



地方独立行政法人  
那覇市立病院

# 端きざはし

2023.10  
Vol.

35



## 放射線治療 新病院見学ツアー

## 放射線治療科

# 放射線治療紹介

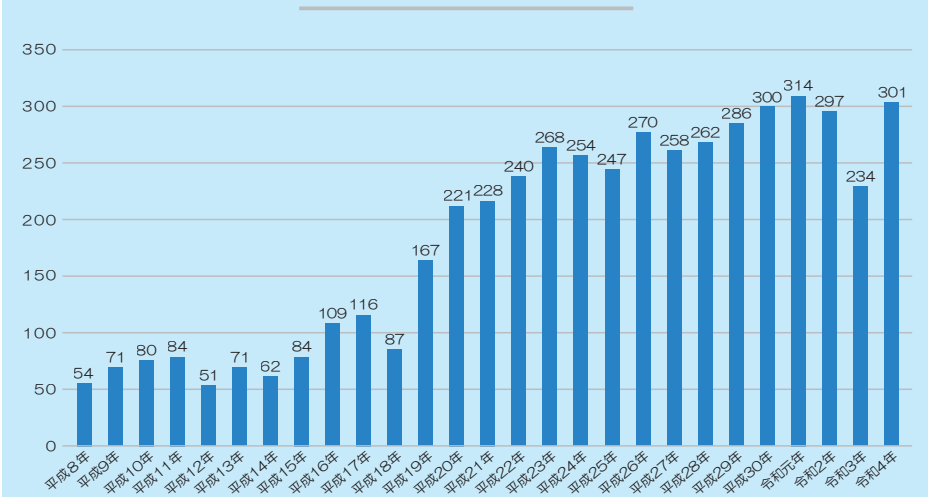
2022年4月より、那覇市立病院に「HALCYON ハルシオン」という新規放射線治療装置が導入され、従来より使用している汎用機「21EX」との2台体制になりました。

### 導入の経緯

那覇市立病院にはじめて放射線治療装置が導入され、治療が開始されたのが昭和62年4月。当時の治療装置はNEC社製のNELACという装置でした。この治療装置は平成18年9月までほぼ20年間運用され、

平成19年3月より2代目のVarian社製21EXという治療装置へとバトンタッチしました。この21EXは現在も現役で活躍しており、今年で16年目を迎えています。しかしこの装置も現在ではなかなか古い治療装置となつてしまい、もしこの治療装置が故障したら、治療中の患者さんたちに非常に迷惑をかけてしまう…との思いから新規の放射線治療装置を導入す

### 放射線治療件数



那覇市立病院における放射線治療患者数を表しています。令和3年の件数減少はコロナの影響と考えられます。

ることが決まりました。また、21EXという治療装置を設置している部屋(放射線治療室)は放射線を遮蔽する壁がやや脆弱で、法律上の規制からあまり大勢の患者さんを治療することができませんでした。那覇市立病院では年々治療患者が増えており(グラフ参照)、数年前からは使

用線量がこの制限ギリギリになってしまったこともありました。そのため、残念ながら外来受け入れを停止せざるを得ないこともありました。今回ハルシオンを設置した部屋は壁の補強も十分行ったので、今後は外来受け入れ制限をすることはないと考えております。これも2台目を導入した

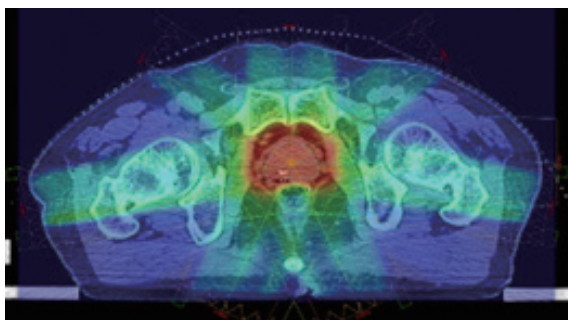
理由の一つでした。

## 治療装置の特徴

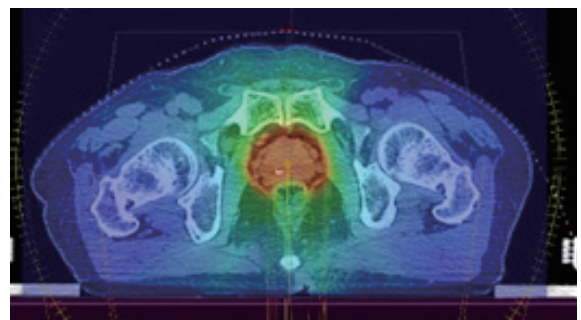
2台の放射線治療装置にはそれぞれ特徴があります。汎用機である「21EX」は平均的になんでもできる装置で、通常の放射

線治療以外に高精度放射線治療である強度変調放射線治療（IMRT）や体幹部定位放射線治療（ピンポイント照射）もできます。また、「電子線」という放射線も照射できるため、体の比較的表層の治療（皮膚がんやケロイドの治療）も行うことができます。一方、今回導入された

「ハルシオン」は強度変調放射線治療の専用機という位置づけであり、これ以外の放射線治療はそれほど得意ではありません。しかし、IMRTに関しては汎用機をはるかに凌駕するよい治療ができます。IMRTの照射方法にも、固定多門照射（通常は7門などの方向から放射線をあてる）と回転IMRT（体の周りを360°回転しながらIMRTを行う）があり、当院のハルシオンはこの回転IMRT（VMATといえます）の専用機です。VMATはハルシオン以外の治療装置でも行うことができます



固定多門（7門）で行った前立腺がんの線量分布図



ハルシオン（VMAT）で行った前立腺がんの線量分布図。左記症例を VMAT 用に計画しなおしたものの、高線量が照射される赤い部分がより小さくなっていることに注目。

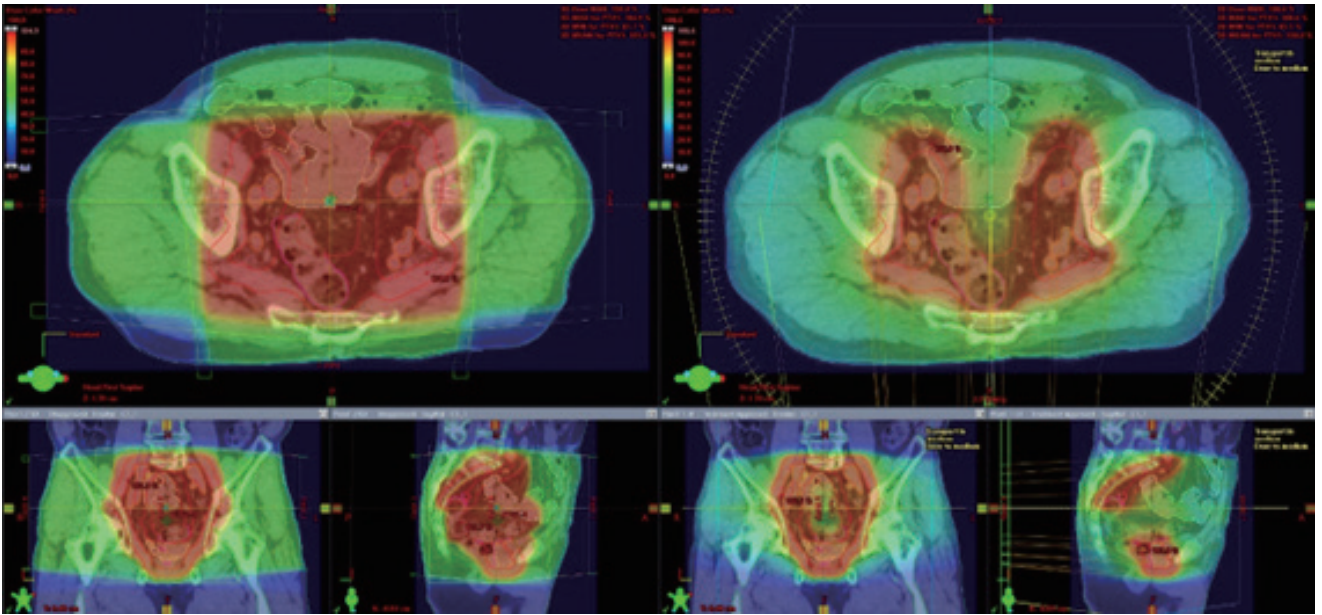
Var ian 社製 HALCYON

Var ian 社製 21EX

# 骨盤内リンパ節領域への放射線治療

21EX

ハルシオン (VMAT)



右はハルシオン (VMAT) で治療を行った照射の線量分布図。左は 21EX で4門の放射線を行った場合の線量分布図 (同一症例)。赤い部分が高線量の放射線が照射された部分である。VMAT では中央の腸管の被曝線量が大きく下げられていることに注目。

すが、ハルシオンは専用機なので治療に要する時間が最も短い装置(ガントリー回転速度は従来機の約4倍です)となっており、患者さんたちの負担を軽減することが可能です。また、医療機器には音がうるさいものが多いと思いますが、このハルシオンは非常に静かであるということも特徴となっております。

## 那覇市立病院の放射線治療

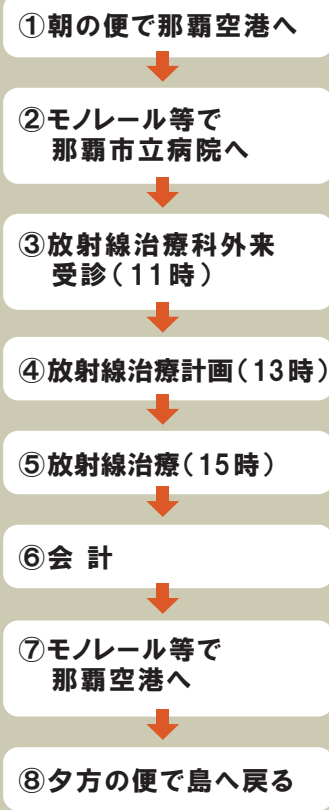
治療装置2台体制になったので、那覇市立病院で行える放射線治療は当然ながら変化していきます。これまで行ってきた通常の放射線治療はこれまで通り行っていくのですが、それらの中にはハルシオンで治療したほうが良い(腫瘍へは高線量を照射でき、周囲正常組織へはできるだけ低線量におさえる)症例もたくさんあります。我々が計画をたてて21EXで行うかハルシオンで行うかを決定していくこととなります。乳がんの術後照射はハルシオンで行うメリッ

トは特になく、逆に時間がかかってしまったりするため、今後も21EXで治療をしていくこととなります。これまで那覇市立病院ではできなかった肝臓の腫瘍性病変への体幹部定位放射線治療も可能となります。また、将来的には椎体等の転移性骨腫瘍に対する体幹部定位放射線治療も実施していく予定です。

放射線治療は今後もますます高精度に複雑になっていきます。それを行うためには我々放射線治療科医師・診療放射線技師・看護師・医学物理士の努力だけでは達成できないものが多く、定期的に治療装置や治療計画装置等を更新して最新のものにしていく必要があります。この度導入したハルシオンはまさに最新の治療装置であり、那覇市民をはじめ離島を含めた沖縄県民の皆様のがん治療に大きく貢献できると考えております。

# 日帰り放射線治療

## 日帰り放射線治療の流れ



沖縄県には離島がたくさんあります。しかし、放射線治療装置は離島に1台もありません。離島の方が放射線治療を行う場合には沖縄本島まで出てきていただく必要があります。放射線治療は一般的に日数がかかる治療(長ければ8週間程度)であり、離島の患者さんであればその間沖縄本島に滞在しなければなりません。これは入院であっても、ホテル等に宿泊するにしても結構な出費となってしまいます。

がんが骨に転移して疼痛をきたしている状態では、疼痛緩和を目的とした放射線治療が非常に有効です。放射線治療により、一般的に60〜90%の確率で疼痛が軽減するといわれており、20〜30%の確率で疼痛が消失するといわれています。この疼痛緩和を目的とする放射線治療としては、10回(2週間)の放射線治療が一般的でしたが、放射線の量を調節することによって1回で行うことも近年では標準的になっています。一般的に10回の放射線治療と、この1回で行う放射線治療では疼痛を軽減する効果はほぼ同等とされています。1回の治療であれば沖縄本島に宿泊することなく日帰り

離島では簡単には受けることのできない放射線治療ですが、がんが骨に転移して痛くて困っている患者さんにとって日帰りで放射線治療を受けられるという選択肢は大きな助けになると考えています。ぜひ活用してください。

この1回で完結する放射線治療を円滑に進めるためには、以下の2点が必要となります。

- ① 放射線をあてる部位についての相談が当日までにできていること  
(主治医と我々放射線治療科医師の連携)
- ② 鎮痛剤や安定剤等の処方があれば持参していただく  
(急な疼痛等で飲んでいただくことがあります)

放射線治療を行うことができません。日帰り放射線治療の大まかな流れとしては、左上の図の通りです。

## がん患者等宿泊支援制度

**対象** 放射線治療を受けている離島・へき地のがん患者

**条件** (一部抜粋)  
 ・がんの治療で、対象となる医療機関で、放射線治療を受けるため、対象となる宿泊施設に泊まる患者さんやその付添人が宿泊した場合に宿泊割引を受けることができる

**利用方法** ・医療機関の窓口で申請手続きを行い、「登録証」を入手し、宿泊施設に提出してください ※詳細は沖縄県HPをご確認ください

**窓口** がん相談支援センター (1階 ATM 隣、青色の窓口でお声かけください)



ブイマツ

# 強度変調回転放射線治療 VMAT で大きく変わった骨盤部への照射

放射線治療装置『Halcyon™(ハルシオン)』の導入によって大きく変わった那覇市立病院の放射線治療で、特にその線量分布の改善が顕著な骨盤部への照射についてご紹介いたします。

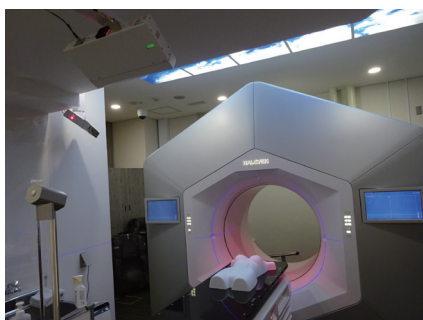
当院に従来からある装置 (Clinac 21EX) では、放射線の当たる強さを変化させ、回転しながら照射する「volumetric modulated arc therapy / VMAT (ブイマツ)」という照射を行うことができませんでした。

しかし、Halcyon™ (ハルシオン) では、そのVMATを行うことができるため病巣への線量を担保し腸管や直腸のような正常臓器への放射線量を低減することができます。従来装置と比較して格段に正常臓器の線量を下げることが可能となりました。そして、所属リンパ節領域の予防照射など長い照射野にも当院のVMAT は対応します。今では VMAT ができるとを知っていただいた当院診療科や近隣のクリニック様、

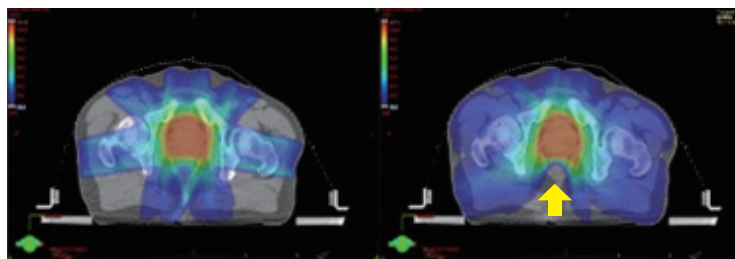
病院様から直腸がんの術前照射の患者さんなど徐々にですがご紹介をいただいております。

また、骨盤部の照射にも Align RT™ (アライン RT) という皮膚の表面で位置合わせや監視を行うシステムを使用しています。この装置による被ばくはありませんし、体表面に印を付けずに治療を受けることができます(一部例外あり)。体の回転などのズレも補正でき、正確にスピーディに位置合わせを行っています。この装置のおかげで、印が消える心配や印を見られる心配がなく患者さんには、ストレスなく治療を行っていただいております。

右図の線量分布図は、赤いほど高線量で青いと低線量であることを示しています

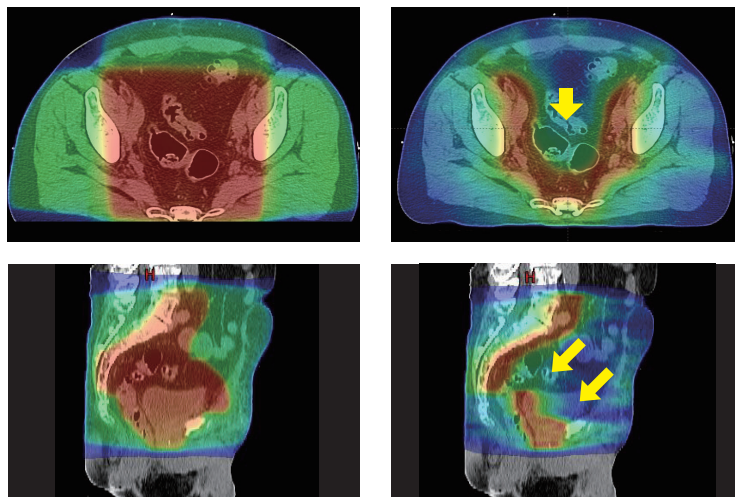


上段は AlignRT (赤い光) を使った位置合わせの様子。下段は AlignRT の操作画面で骨盤部の中心を隠しても位置合わせに影響はない。(患者さんの気持ちに配慮することができます。)



前立腺がんの照射 左：従来装置 右：Halcyon

右の Halcyon では矢印の直腸の放射線線量が低いことが分かる



前立腺床と所属リンパ節領域への照射 左：従来装置 右：Halcyon

右の Halcyon では照射野が広範囲でもあてる必要のない腸管 (矢印) の線量は低くすることが可能。

# SpaceOAR™ および金マーカー留置による 前立腺がん照射20回を始めました。

当院では、2022年11月から、SpaceOAR™ および金マーカー留置による前立腺がん照射（寡分割照射20回）を開始しました。

通常の状態では前立腺に放射線治療を行うと、直腸に比較的高い線量の放射線があたる可能性があります。しかし、SpaceOARを患者さんに留置した状態で、前立腺に照射することで、直腸と前立腺の距離を離すことができ、直腸にあたる放射線量を減らすことができます。副作用による直腸出血などのリスクを低減することに期待がもてます。

SpaceOARとは、ハイドロゲルと呼ばれる合成吸収性材料のことで、直腸と前立腺の間に挿入することで、その距離を拡げ線量分布の改善に役立ちます。このハイドロゲルは注入後、約3ヶ月間維持され、その後約6ヶ月かけて体内に吸収されます。

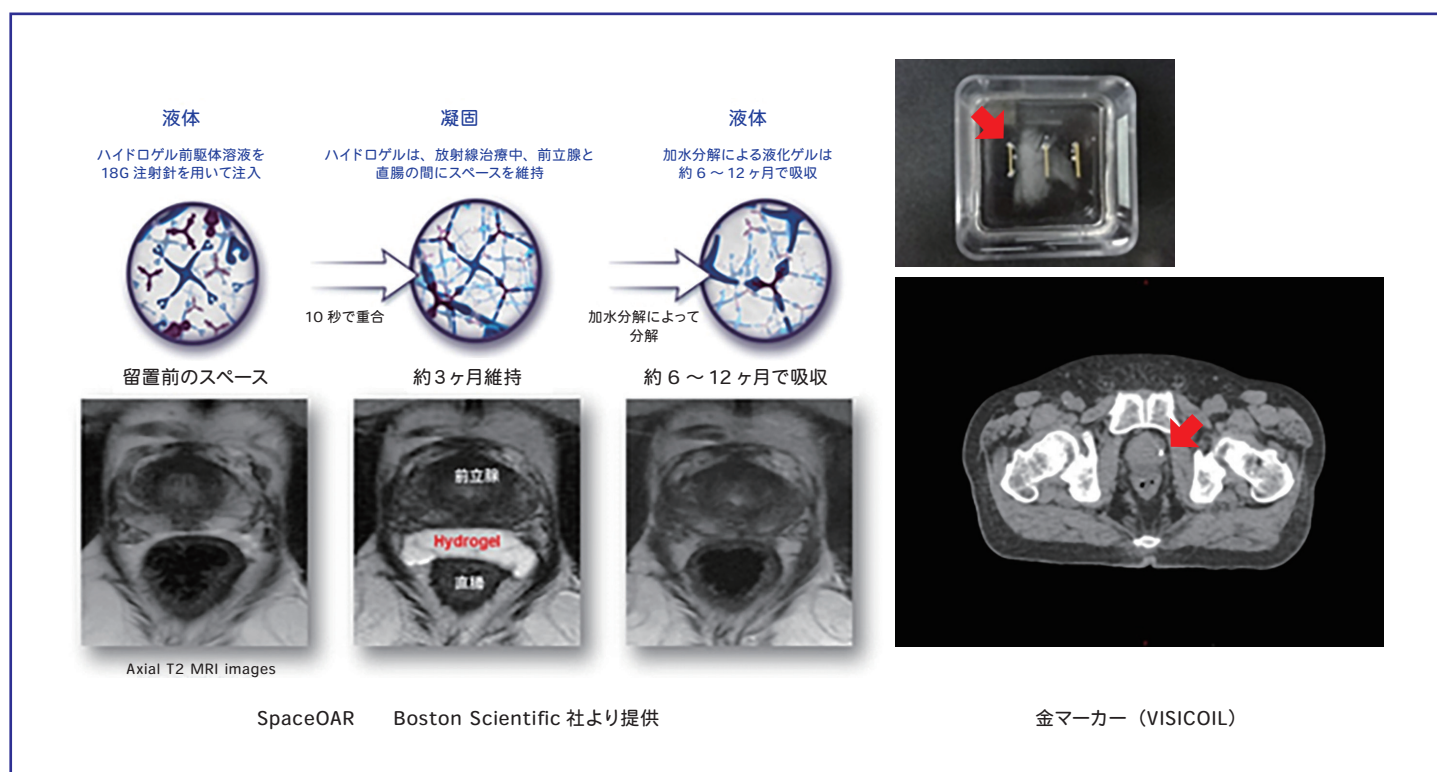
また、当院ではSpaceOARの留置と同時に金マーカー（VISICOIL™）の留置も行っています。新放射線治療装置 Halcyon では照射する前に毎回CT画像を撮影し前立腺の位置の確認を行います。強度変調（回転）放射線治療 IMRT/VMAT は、

ミリ単位の位置合わせの治療であるため、その際の位置照合の時間短縮や精度向上に役立ちます。

これらの留置により、通常分割では37～39回であった照射を1回線量の大きい寡分割照射（当院では20回）で安全に安心して行うことができます。医師の診察で留置適応となった患者さんには、1泊ほど入院をしていただき、泌尿器科医の手技のもと留置を行っています。

当院では、他の照射も含め、専門知識を有する経験豊富な医師、スタッフが担当しており、安心して放射線治療を受けていただいております。治療をご希望の患者さんがおりましたら、ご遠慮なくご相談下さい。

なお前立腺がん照射については、当院泌尿器科で放射線治療適応であると判断された患者さんが対象となります。前立腺PSAマーカー高値など、前立腺疾患疑いがあればご紹介下さい。



# おまかせください!! 那覇市立病院の放射線治療

## 高精度な放射線治療を支える専門家たち

放射線治療は、医師だけで行うことはできません。医師の治療方針に基づいて、さまざまな職種が専門性を発揮し、役割分担するチーム医療として行うことで、より高精度な放射線治療を患者さんに提供することができます。当院では、専門知識を有した放射線治療専門医（2名）をはじめ、がん放射線療法看護認定看護師（1名）、放射線治療専門放射線技師（2名）、医学物理士（1名）が協力し、患者さんの思いに寄りそった治療を提供しています。

そこで、高精度な放射線治療を安心して受けていただくためにも、当院で働く放射線治療の専門家たちについてご紹介いたします。

### 放射線治療専門医



認定試験に合格し、放射線治療の専門知識と経験を有した医師で、がん治療のスペシャリスト。問診や診察を行い、検査の結果から、放射線治療の適応があるか判断する。患者さんひとりひとりの疾患や状態に合わせて照射範囲、照射線量や回数などの治療の内容を決定する。また、その治療内容に基づいた治療計画を作成する。

### がん放射線療法看護認定看護師



がん放射線療法の知識と熟練した看護技術を持った認定試験に合格した看護師。放射線治療に伴う副作用症状の予防や軽減のケアを行う。放射線治療中から治療後の体調管理や生活についてなど、患者さんからのさまざまな放射線治療に対する悩みや不安の相談に対応する。

### 放射線治療専門放射線技師



放射線治療の専門知識と経験を持った認定試験に合格した診療放射線技師。医師の治療方針に基づいて、実際に患者さんの位置合わせや放射線治療装置を操作し照射を行う。また、治療時に正確な位置合わせを行うための固定具をスタッフと協力して作成し、治療計画CTの撮影を行う。

### 医学物理士



認定試験に合格したもので、技術面から放射線治療の安全管理を担う医療職。放射線治療装置が常に正常に動くように定期的な検査の実施や放射線が正しく照射されているか線量測定などの装置の品質管理業務を担当する。また、高精度放射線治療の計画を立案し、計画通りに照射されるか検証（確認）作業を行う。



# 救急車が新しくなりました



令和5年8月に救急車が新しくなりました。以前の救急車に比べ車体自体も大きくなりましたが、車内はかなり広くなりました。これまで搬送中に患者さんの処置が必要な際は、座る位置によっては処置ができないこともあり、荷物の置き場所や医療従事者が座る場所を考えながら乗車していました。新しい救急車は機材置き場も十分にあり、車内で自由に移動できるスペースを確保することもでき、搬送中の対応もスムーズに行うことができるようになりました。また、赤色警告灯は以前より大きくなり遠からの視認性が向上しました。

平成21年から14年間に渡り患者さんの搬送だけでなく、那覇市やDMATの訓練でも活躍してきました。長い間お疲れさまでした！

旧救急車です



# 新任医師紹介



**放射線科**  
カワカミ ユカ  
**川上 由香** 医師

那覇市出身。昭和薬科大附属高校卒業。琉球大学医学部第25期生(卒後13年目)です。初期臨床研修終了後、8年間琉球大学の法医学講座に所属していました。2年前から放射線科に入局し、臨床に復帰しました。生まれは那覇市立病院なので、医師として戻ってこられたことをとても嬉しく思います。鋭意精進してまいりますので、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



**小児科**  
トケシ アヤカ  
**渡慶次 綾香** 医師

沖縄県宜野湾市出身。昭和薬科高校卒業。琉大医学部第30期です。豊見城中央病院(現・友愛医療センター)で初期研修し、小児科専攻医のプログラムで那覇市立で研修させていただくことになりました。未熟でご迷惑をおかけすることもあるかと思いますがよろしく願います。



**内科**  
ナガタ キリョウ  
**長田 紀亮** 医師

那覇市出身。昭和薬科大学附属高校卒業。琉球大学医学部第32期生(今年3年目)です。初期研修も琉球大学病院の方で修了しました。1年半ほどのブランクもありまして、まだまだ現場に不慣れな部分が多々ありますが、できるだけ一生懸命に頑張りますので宜しくお願い致します。趣味は読書や運動をすることです。特に卓球やボウリング等です。



**循環器内科**  
アラカキ ヤスシ  
**新垣 康** 医師

那覇市出身。昭和薬科大学附属高等学校卒業。琉球大学医学部第25期生(今年12年目)です。初期研修・後期研修を中頭病院で行い、循環器内科医として急性期医療に携わってきました。その後、岡山県の倉敷中央病院で不整脈を勉強し、鹿児島県の米盛病院では虚血性心疾患を中心に学ばせてもらいました。General Cardiologistを目標としておりますが、まだまだ未熟ですので、御指導・御鞭撻の程よろしくお願いいたします。



**産婦人科**  
トモヨセ エリカ  
**友寄 江梨佳** 医師

うるま市出身で、球陽高校を卒業しました。琉球大学医学部第33期生で今年5年目です。琉球大学産婦人科入局後、琉大病院、沖縄赤十字病院、中頭病院で勤務してまいりました。趣味はダイビングです。まだまだ未熟でご迷惑をおかけすることも多いかと思いますが、少しでも地域の皆さまのお役に立てるよう、日々精進してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



**産婦人科**  
キマタ ナツコ  
**木全 奈津子** 医師

宮古島で生まれ那覇で育ち琉球大学を卒業しました。琉球大学産婦人科に入局し、琉球大学病院・中頭病院と勤務してまいりました。6年程前に半年間、那覇市立病院でもお世話になりました。患者さん一人ひとりと向き合い、患者さんのためになる診療を行っていきたく思います。好きな事は琉球ゴールデンキングスの試合観戦です。一生懸命頑張りますのでどうぞよろしくお願いいたします。



**脳神経外科**  
アラサキ モリトシ  
**新崎 盛敏** 医師

那覇市出身。開邦高校卒業。琉球大学医学部卒業です。脳神経外科入局後、那覇市立病院・琉球大学病院と勤務してまいりました。和と奉仕を理念に掲げ、一生懸命に頑張りますのでよろしくお願いいたします。趣味はスポーツ鑑賞、折り紙。好きな食べ物は焼き鳥です。焼き鳥の美味しいお店を知っていたら教えてください。



**脳神経外科**  
ミヤザト キョウタカ  
**宮里 清隆** 医師

那覇市立病院生まれ、真嘉比小学校、松島中学校、開邦高校卒業、琉大医学部31期卒の宮里 清隆と申します。卒後7年目で脳外科を専攻しております。徐々に専門的知識や手術手技など身につけてはいますが、まだまだ一人前になるには程遠く、日々奮闘中です。頼れる医師になれるよう頑張りますのでよろしくお願いいたします。好きなスポーツ：サッカー、ランニング、スパルタンレース 好きな音楽：サザン、T字路 s、森山直太朗は不動



**脳神経外科**  
トモリ タケシ  
**友利 壮志** 医師

2年ぶりに常勤として戻りました。脳外科の友利です。那覇出身で、広島大学を卒業後に那覇市立病院初期研修医14期生として入職させていただきました。研修後は2年間後期研修でもお世話になり、その後琉大、中部徳洲会病院で勤務を経て戻ってまいりました。久しぶりで戸惑うこともありますが、よろしくお願いいたします。個人的にはカーリバンド(院内バンド)の復活を期待しております。



**整形外科**  
マツダ ヒデトシ  
**松田 英敏** 医長

うるま市出身、沖縄尚学卒業。2003年琉球大学卒業し、整形外科は17年になります。主に膝、スポーツをみています。他科の先生方にはいろいろお世話になるかと思いますが、宜しくお願いします。趣味はサッカーとダーツです。



**腎・泌尿器科**  
シモジ アキヒサ  
**下地 昭久** 医師

宮古島出身。昭和薬科大学附属高校卒業。琉球大学医学部第31期生です。琉球大学 腎・泌尿器科入局後、友愛医療センター、大学病院で勤務してまいりました。趣味はキャンプや釣りをすることです。那覇市立病院では、泌尿器科の一員として、多くの手術症例を積む事から、院内の排尿障害の管理まで幅広く活躍できるように邁進して参ります。これからどうぞよろしくお願いいたします。



**形成外科**  
シミズ ユウタ  
**清水 雄太** 医師

琉球大学形成外科から派遣されました、清水 雄太と申します。今までは再建手術やリンパ浮腫の多い大学病院で勤務しておりました。市立病院職員として地域医療に貢献できるようがんばりますのでよろしくお願いいたします。



### 初期研修医

オオシロ アヤ

大城 彩 医師

この度、那覇市立病院初期臨床研修医 20 期生として入職いたしました大城 彩と申します。沖縄県出身、那覇国際高校卒業、琉球大学医学部 37 期生です。趣味は Bリーグ観戦やコーヒー屋さん巡りです。研修中にご迷惑をおかけすることもあると思いますが、いつでも初心を忘れずに一生懸命がんばりたいと思っております。よろしく願いたします。



### 初期研修医

トカガ ショウゴ

戸川 省吾 医師

岡山県岡山市出身。岡山白陵高校卒業。山口大学医学部卒業（研修医 1 年目）です。4 月より医師となり、社会人の大変さをひしひしと感じております。多々ご迷惑をおかけするとは思いますが、ご指導の程よろしく願いたします。趣味は釣り・ゴルフ・フットサルです。



### 初期研修医

トクムラ イオリ

徳村 伊織 医師

はじめまして、研修医 1 年目の徳村 伊織と申します。那覇市出身で、琉球大学 37 期生です。那覇市立病院で生まれたので、研修医として戻ってくる事ができて嬉しいです。趣味はカラオケとギターです。右も左も分らず、ご迷惑をおかけすると思いますが、どうぞよろしく願申し上げます。



### 初期研修医

ミヤギ ハルカ

宮城 遥 医師

那覇市出身。昭和薬科大学附属高校卒業。はじめまして、4 月から初期研修医としてお世話になっております。宮城 遥です。琉球大学医学部第 37 期生です。大学時代は、フットサル部に所属しており、上手くはありませんが体を動かすことが好きです。先輩方の姿を手本に、一人前に早くなれるよう努めます。よろしく願いたします。



### 初期研修医

タマキ ハツミ

玉城 初美 医師

兵庫県出身。西大和学園高等学校卒業。琉球大学医学部第 37 期生（今年 1 年目）です。大学では水泳部、サッカー部、中国医学研究会に所属していました。まだまだ未熟ですが、個性豊かな同期と切磋琢磨しながら成長していきたいです。これから、よろしく願いたします。



### 初期研修医

イレイ アカネ

伊禮 朱音 医師

浦添市出身、昭和薬科大学附属高校卒業。琉球大学医学部第 37 期生です。高校ではバドミントン部、大学では水泳部に所属しておりました。キャンプや釣りなど、アウトドアや体を動かすアクティビティが好きです。精一杯頑張りますので、ご指導のほどよろしく願いたします。

### R5.8 新任医師



### 外科

カワバタ ヤスナリ

川畑 康成 科長

令和 5 年 8 月から島根大学付属病院から那覇市立病院外科に入職いたしました。前任地では、肝臓外科・胆道外科・膵臓外科を専門とし、特に膵臓癌に注力して診療・研究を行ってまいりました。趣味は、映画鑑賞・ジョギングで、座右の銘は“人間万事塞翁が馬”。那覇市立病院でも引き続き肝胆膵外科を中心にチーム医療の発展・向上に貢献できればと考えています。よろしく指導願申し上げます。



### 初期研修医

ナミヒラ ユウキ

波平 有貴 医師

糸満出身。昭和薬科大学附属高校卒業。琉球大学医学部第 37 期生（今年 1 年目）です。まだまだ未熟ですが、一生懸命頑張りますので宜しく願いたします。趣味はスポーツ全般で、大学時代はフットサル部に所属していました。しかし、コロナの影響で部活動の制限が始まったため、2 年前からサーフィンを始めました。



### 初期研修医

トウマ コイ

当真 結衣 医師

那覇市出身。昭和薬科大学附属高校卒業。琉球大学医学部第 37 期生です。趣味は旅行です。一日でも早く仕事を覚えられるよう、一生懸命頑張りますので、よろしく願いたします。



### 初期研修医

ウダ イッセキ

卯田 一汐 医師

福岡県出身。福岡大学附属大濠高校卒業。産業医科大学 40 期生です。今年から那覇市立病院で初期研修します。大学ではバドミントン部に所属していました。趣味はスポーツ観戦と映画鑑賞です。ラーメンが好きなので、スマホにラーメンフォルダを作っています。一生懸命頑張りますので、これからよろしく願いたします。



### 初期研修医

ソウ ヒロカ

荘 裕翔 医師

沖縄県那覇市出身。沖縄尚学高校卒業。川崎医科大学出身です。中学高校時代は吹奏楽部、大学ではソフトテニス部に所属していました。初期研修医の 2 年間で、1 人の医師として地域に貢献できるよう、一生懸命頑張っていきますので、よろしく願いたします。



### 初期研修医

ケラカウチ タカヒロ

舘川内 貴大 医師

舘川内 貴大（けらかわうち たかひろ）と申します。大分市出身、大分上野丘高校卒業です。福岡大学から来ました。大学時代はバレーボール愛好会に所属していました。趣味はサーフィンです。沖縄に住むのは初めてなので分からないことも多く、ご迷惑をおかけすることもあるかとおもいますが、よろしく願いたします。



よろしく  
願いたします



# 新病院



建設現場へ

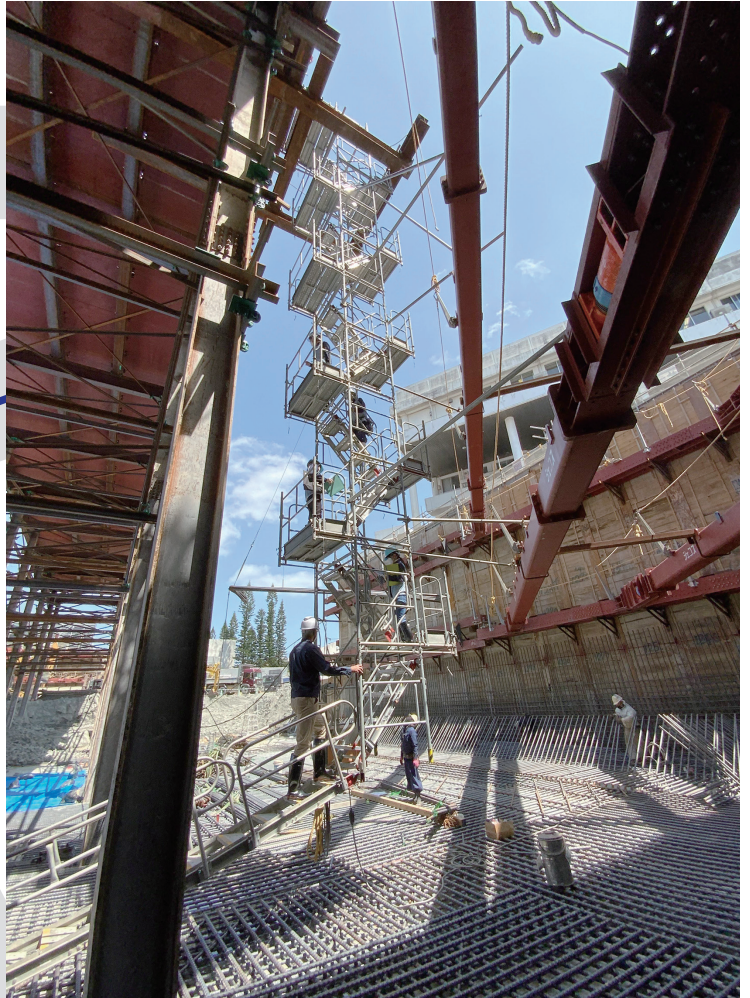
# おじゃましました



建設現場で最初に見たのは、免震装置の基礎部分の模型です。これは基礎の施工試験に使用されるものです。



階段を上がり、建設現場周辺をぐるっと回りました。  
ここは、新病院2階部分の高さです。



60段ほどある階段を降りて、地下部分へ向かいました。  
床や壁に太い鉄筋がたくさん組まれていました。

見学ツアー終了です。

普段は見ることの出来ない場所をいくつか紹介しましたが、いかがでしたでしょうか？  
最後に、建設現場の見学にご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。

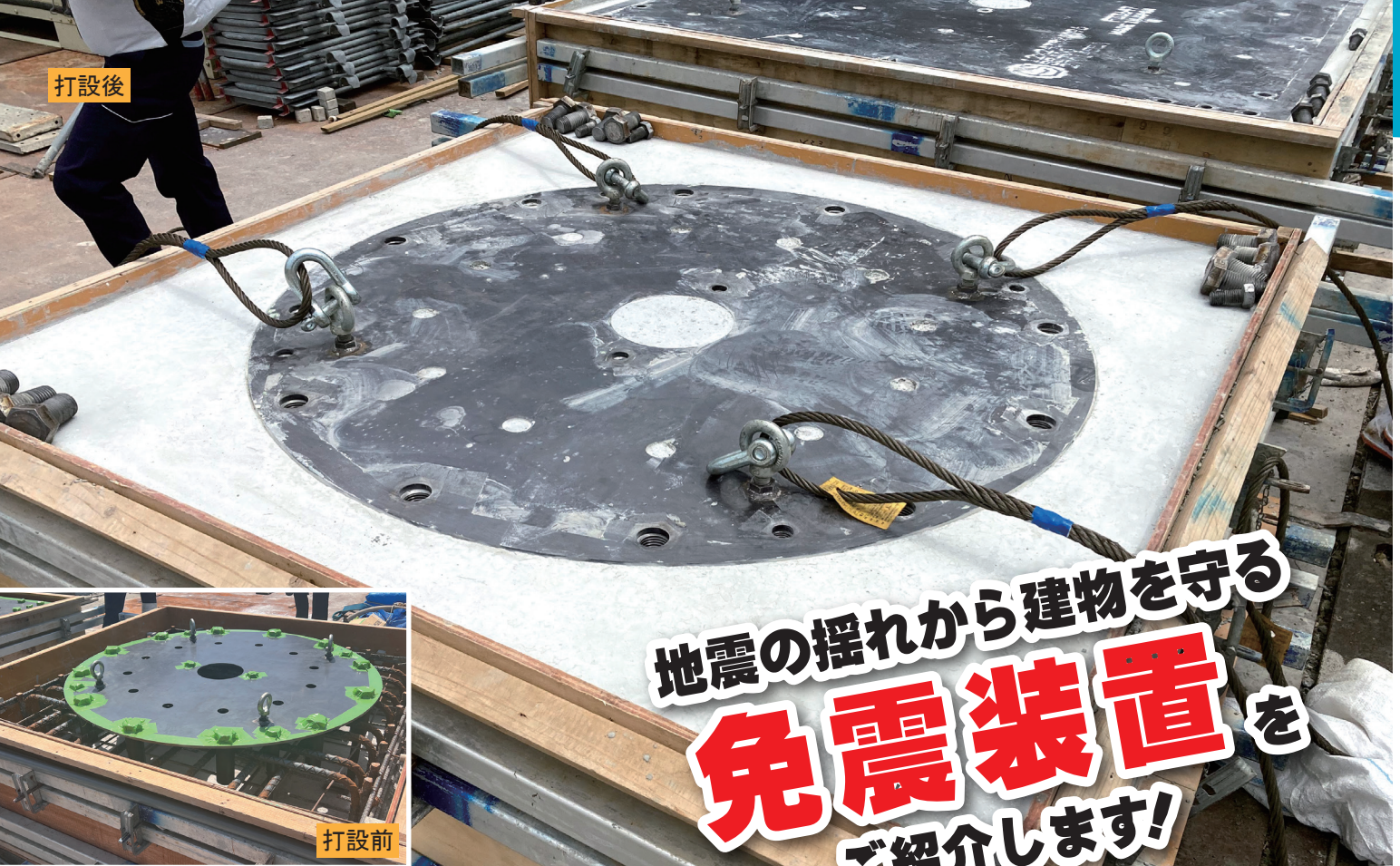


建設現場のみなさまと

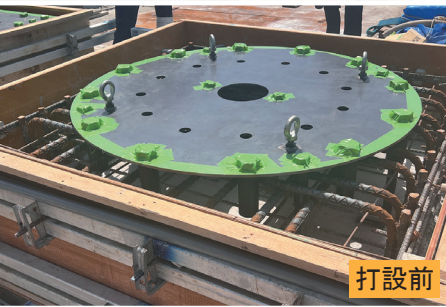


旧事務局があった場所に向かいました。  
矢板をはめるため、手作業で掘り起こしていました。  
土がとても固そうでした。  
建設現場の皆様、頑張ってください。

打設後



# 地震の揺れから建物を守る 免震装置を ご紹介します!

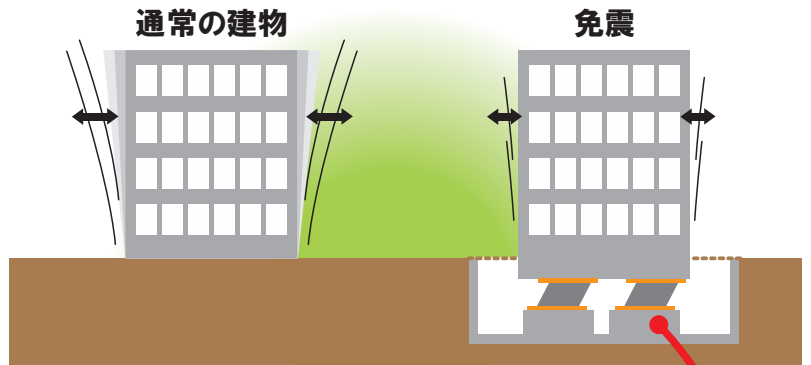


打設前

## 免震装置とは

地盤と建物を切り離し、地震の揺れが建物に伝わりにくくする構造。建物には免震装置で吸収できなかった揺れは伝わるが、建物の亀裂や物の転倒などの被害を抑えることができる。

実際に建物に使用する免震装置を作る前に、免震装置の“基礎部分”の施工試験（テスト）を行います。  
当院では、5月末に施工試験を行いました。



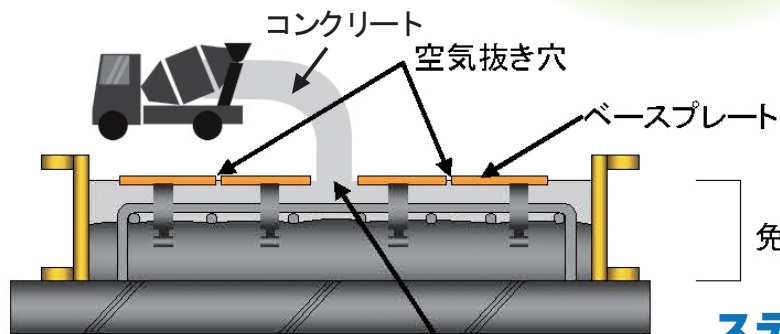
地震の揺れ

## ステップ①

免震装置の基礎部分の型を作る

## ステップ②

型にコンクリートを流し込む



打設孔  
免震下部基礎の断面図

免震下部基礎

## ステップ③

空気が入らず、コンクリートがしっかり充填していれば合格!

新病院では、地震が発生した場合に被害を最小限に抑えるため、免震構造を採用しています。

# 2023年2月に ホームページのリニューアルが完了しました!

受診案内や病院からのお知らせなどを発信しているメインサイト（2022年11月公開）、採用情報を掲載しているリクルートサイト（2023年2月公開）をそれぞれリニューアルしております。



## メインサイト

ページ構成やデザインを見直し、ご利用いただく皆様に分かりやすく、使いやすいホームページになるよう改善しました。新病院に関する情報も発信しています。



## リクルートサイト

スタッフインタビューやクロストークの様子を掲載し、職員の働き方や病院内の雰囲気が伝わるよう工夫して医療従事者の確保に取り組んでいます。

今後も多くの皆様にご利用いただけるホームページを目指し、内容の充実を図り、活用しやすい情報提供を行ってまいります。

## 特定技能外国人（ミャンマー出身）を受け入れています

令和5年9月よりミャンマー連邦共和国から10名の特定技能外国人が看護補助員として働いています。彼女たちは、日本語技能試験や介護技能試験の合格、祖国を離れた日本での生活など多くの壁を乗り越えてきたため就労に関してもモチベーションが非常に高いです。

当初、特定技能外国人を受け入れる目的は看護補助員の人材確保のためでしたが、言葉も文化も違う日本でひたむきに業務と向き合う彼女たちと関わることで、他スタッフへの刺激となり気がつけば現場に活気が溢れていました。これからの活躍を温かく見守っていただければ幸いです。

私たちの日本語が  
早い場合は、  
もう少しゆっくり話してくださいと  
伝えてください。



当院は病診連携を一層推進するために登録医制を設けております。オープンシステムも備えています。お問い合わせは地域医療連携室まで！ TEL.098-884-5134(直通) FAX.098-886-5502

## しんじょうクリニック

### 診療科目

- ・内科全般
- ・小児科
- ・皮フ科
- ・糖尿病 内分泌
- ・睡眠時無呼吸
- ・生活習慣病（高血圧 高脂血症）
- ・肝臓病
- ・予防接種
- ・検診
- ・プラセンタ注射（自由診療）

受付時間／曜日	月	火	水	木	金	土	日	祝
午前 08:40 ~ 12:30	○	○	/	○	○	○	/	/
午後 14:00 ~ 18:00	○	○	/	○	○	○	/	/

休診日：水曜日・日曜日・祝祭日



### 院長 新城 和明

当クリニックでは糖尿病・睡眠時無呼吸症候群に加え、高血圧・高脂血症などの生活習慣病や呼吸器疾患・循環器疾患・腎疾患の患者様に対し、最善の診療を提供し、気軽に健康相談にも来て頂けるクリニックを目指しています。地域の皆様から信頼され頼れるクリニックとなれるよう、職員一同一丸となって頑張っておりますので、よろしくお願い致します。

住所／那覇市宇栄原 6 丁目 1-3

TEL.098-859-7072

## とまり皮フ科

### 診療科目

- ・湿疹・皮膚炎、痒疹症、蕁麻疹  
アトピー性皮膚炎、蕁麻疹等の治療、指導を行います。必要に応じて血液検査、パッチテスト、プリックテストなどで原因を調べます。
- ・水疱症、膿疱症、炎症性角化症、尋常性白斑（しろなまず）  
自己免疫性水疱症、掌跖膿疱症、乾癬、尋常性白斑等の治療を行います。光線治療も可能です。
- ・皮膚腫瘍  
ほくろなどの良性腫瘍、皮膚悪性腫瘍についてダーモスコープ検査や皮膚生検（腫瘍の一部を切りとる検査）での診断、日帰り手術も行います。
- ・感染症  
細菌感染症、白癬（水虫、たむし）などの真菌感染症、ヘルペス、帯状疱疹、水いぼ、いぼなどのウイルス感染症の治療を行います。
- ・円形脱毛症  
局所免疫療法も行います。
- ・巻き爪、陥入爪  
ワイヤー等による矯正や手術も行います。
- ・原発性腋窩多汗症（ワキの多汗症）  
日本で初めて健康保険の適用が認められた外用剤（塗り薬）で治療が可能です。（保険診療で治療） ※ボトックス注射はできません。

受付時間／曜日	月	火	水	木	金	土	日	祝
午前 10:00 ~ 14:00 (受付)09:50 ~ 13:40	○	○	○	○	○	/	/	/
午後 16:00 ~ 20:00 (受付)15:50 ~ 19:40	○	○	○	○	○	/	/	/

休診日：土曜日・日曜日・祝祭日



### 院長 新嘉喜 長

このたび那覇市おもろまちに「とまり皮フ科」を開院しました、新嘉喜(あらかき) 長(おさお)と申します。私は幼少期を含め30年近く泊地区に住んでおり、この近隣地域に大変愛着を持っております。このような場所で皮膚科クリニックを始められることを大変うれしく思っています。地域住民や働く皆様の健康に役立てるよう夜8時まで診療し、通いやすいクリニックを目指して頑張っています。皮膚の悩みがありましたら、是非ご相談してください。

住所／那覇市おもろまち 2-3-23 2F

TEL.098-862-1255



# 令和7年10月 那覇市立病院が生まれ変わります

## 新病院の概要

- 地上10階、地下1階、鉄骨鉄筋コンクリート造（免震構造）
- 床面積：約38,330㎡（現在より6,900㎡大きくなります）
- 病床数：470床（現在と同数です）
- 令和9年に駅から1階レベルを「ゆいデッキ」でつなぎます

